

## 小型無人ヘリコプターによる放射線の近接空中計測 Proximity air measurement of the radiation by unmanned small helicopter

梶原 康司<sup>1\*</sup>; 本多 嘉明<sup>1</sup>  
KAJIWARA, Koji<sup>1\*</sup>; HONDA, Yoshiaki<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 千葉大学環境リモートセンシング研究センター

<sup>1</sup>Center for Environmental Remote Sensing, Chiba Univ.

東日本大震災に伴う福島第1原子力発電所事故により飛散した放射性物質の除染作業が、居住地域や耕作地等に対してされている。しかしながら森林域ではいまだに高い線量が計測されている。居住環境内に森林がある場合には建物の屋根や土壌のみの除染を行っても安全性を保證できるかどうかは疑問である。

本研究では、小型の無人ヘリコプターに取り付けたウィンチで計測対象までの距離を調節できるようにした放射線計測器を用い、樹冠に近接した位置から100m程度の高度までの空間線量を計測し、これまで困難であった森林における面的な線量計測が可能であることを示した。また、除染された場所であっても、近接して森林が存在する場合の空間線量が高度によって変化することを確認した。

キーワード: UAV, 放射線計測, 森林樹冠

Keywords: UAV, Radiation Measurement, Forest Canopy